

群馬大学広報誌

[グッデイ]

GU'DAY
2022
SPRING
VOL.12

GU'DAY

IS NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION GUNMA UNIVERSITY'S MAGAZINE THAT PROVIDES RECENT NEWS

学生広報大使
特別コラボ企画!

特別
対談

熊本大学学生広報スタッフ

×

群馬大学学生広報大使
広報誌チーム





2022 SPRING GU'DAY

特別
コラボ企画

熊本大学学生広報スタッフ

× 群馬大学学生広報大使広報誌チーム

学生広報大使とは

2017年4月に結成された群馬大学の在学学生による広報チームです。広報活動を通して、群馬大学を学内外に広くPRしています。学生広報大使広報誌編集チームのメンバーが群馬大学広報誌「GU'DAY」の記事を作成しています。



©2021 Fumiya Osawa. All Rights Reserved

●群馬大学学生広報大使について

<https://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/g29322>

●群馬大学学生広報大使アカウント

Twitter:@Gundai_sa Instagram:@gundai_sa TikTok:@gundai_sa

contents

輝く群大生 …… P.02～P.07

キャンパス紹介 … P.08／P.09

研究紹介 …… P.10／P.11

群大最新ニュース … P.12／P.13

群馬大学学生広報大使について … P.14／P.15

群馬大学基金について …… P.16／P.17

輝く群大生

「この時代を、駆ける！」

群馬大学YouTube公式チャンネルで、

「Guts for the future!～私たちがここから未来を創るんだ～」を公開中です。

動画制作を担当したS係長の
見どころPoint!

今回の動画には、ナレーター役も含めて多くの在学生に出演してもらいました。コロナに負けずに前向きにキャンパスライフを送る群大生のリアルな姿を是非観ていただきたいです!



私たちが
ここから
Guts for the future!
未来を
創るんだ

輝く群大生



この動画では、新型コロナウイルス感染症拡大後の、群馬大学におけるキャンパスライフの様子を、在学生のリアルな声を中心にお届けしています。是非、チェックしてください!





共同教育学部 [4年生]

現在はオンラインと対面を使い分けながら授業に出席しています。色々と苦悩もありましたが、教育実習を無事にやり遂げることができたのは本当に良かったです。新入生や高校生からしてみると、コロナ禍の授業やキャンパスライフには不安があると思います。ただ、大学では検温やアルコール消毒、ソーシャルディスタンスといった基本的な対策を徹底していて、対面での授業だけでなく、部活やサークルで集まることも少しずつ増えてきているので、安心して、大学生生活を楽しみにしてほしいです。



医学部保健学科 [2年生]

コロナ禍で入学したので、授業や友人関係など大学生活に不安がありました。でも、先生がオンラインで丁寧に授業を下さったり、「生協学生委員会」に所属する先輩方が履修相談会を開催して、授業の取り方などを教えて下さったりしたので、学習面に関しては不安なく取り組むことができました。また、大学生活に不安を抱えているのは私だけでなく、みんな同じだったこともあり、新しい友人たちとすぐに仲良くなることができ、今では大学生活を楽しめています。



医学部医学科 [6年生]

地理的な制約をほとんど感じなくなったというのがコロナ禍前後での大きな違いだと思います。例えば、学会の開催地が、東京だろうが、海外だろうが、興味があればすぐに参加できるので、学習機会が増えました。また、学内外の友人、特に学外の友人がたくさんでき、他大学の友人と切磋琢磨する機会も多いんです。今後も学内外の友人とお互いに学び合える環境を活かして、色々な勉強をしていきたいですし、幅広い分野、幅広い視点から社会に貢献できる人材になりたいです。



理工学部 [院1年生]

コロナのせいで自分の大学生活や今まで培ってきたものを台無しにするわけにはいかないから、何か行動を起こさないといけないという気持ちがすごく大きかったです。その中で「新入生を対象にZoomでラジオをしたい!」と動き出したことで、群大の先生や職員など、多くの人に手を差し伸べていただいて、情報発信する場を作ることができました。関わって下さった方々にはもちろん、「つらい中でも何とか乗り切ろう!」と励まし合い、一緒に行動できた友人たちには本当に感謝しています。

輝く群大生

学生広報大使
特別コラボ企画!

熊本大学学生広報スタッフ×群馬大学学生広報大使

熊本大学学生広報スタッフの方と群馬大学広報大使が初めて対談をしました。お互いの大学に対する素朴な疑問や広報を担当するうえで気を付けていることを聞くなど、約2時間交流を楽しみました。群大側は一人3つ、全部で9つの質問を用意し、熊大の実情を教えてくださいました。

群馬大学側参加者

島田咲羽(教育学部4年)、間叡萌(理工学部4年)、横山晴香(教育学部4年)

熊本大学側参加者

阿比留りこ(法学部4年)、平川若奈(文学部2年)

(取材時)

熊本大学学生広報スタッフの活動について

群大 問 それでは、私からまず質問させていただきます。まず、熊大のみなさんが学生広報スタッフとして気をつけていることはありますか？

熊大 阿比留 私たちの発信する目的は二つあります。一つ目は、「熊大に入学したい受験生や、新しく熊大に入学した新生に向けて熊大の魅力を発信していく」ことです。もう一つは、「学生広報スタッフ自身の成長できる場にする」ことです。そこを軸に発信することが、全ての根底にあります。発信内容のブレのなさに関わると思うので、一番気をつけていますね。この発信する目的については、学生広報スタッフの新規加入者向け説明会でも代表から、毎回最初に伝えています。

群大 問 なるほど。すごく軸がちゃんとしていますね。熊大学生広報スタッフの会議の頻度や進め方はどのような感じでしょうか？

熊大 阿比留 会議の頻度は、週に1回、水曜日の昼休みにZoomでオンライン会議を行っています。出席は前日にアンケートをとって、参加者をだまかに把握している感じです。進め方としては、代表が司会を担当し、議事録を取る人はその日の挙手制ですね。そして、最初に班のリーダーたちが週の報告をし、その後全体で共有したいことや相談したいことを話して、最後に時間があつた際は雑談をして解散という流れですかね。この前の年明けの会議では、年末どのように過ごしたかを、まだあまり話せていなかった1年生の子たちと話しました。

群大 問 そうなんですね。対面では行わないのでしょうか？

熊大 阿比留 2回ぐらい対面でも行いましたが、そこからずっとコロナなので…(笑)

群大 問 ですね。ちなみに出席率はどれぐらいなのでしょう？

熊大 阿比留 ええと…(Slackを確認する)明日の会議は11人かな？グループには先生も参加しているので正確にはわかりません。

熊大 平川 結構出席率は高いですね？

熊大 阿比留 そうだね。大体みんな来てるかな。明日はいつもいる人は全員参加予定です。

群大 問 すごいですね！ちなみに先生も参加しているとはどういうことなのでしょう？

熊大 阿比留 私たちは「Slack」というコミュニケーションアプリを使用して連絡をとっています。学生広報スタッフの活動をサポートくださる大学の先生や広報の職員の方ともSlackで情報共有しています。

群大 問 ありがとうございます。後輩への引継ぎはどのように行われていますか？

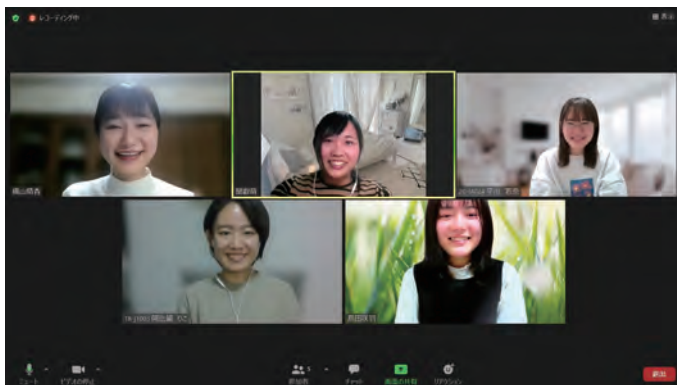
熊大 阿比留 既に今期の引継ぎは終わっているので、リーダーが変わっているんですね。いつぐらいに代替わりしたっけ？

熊大 平川 10月、11月ぐらいだった気がします。

熊大 阿比留 いったん10~11月にリーダーを4年生から2年生に引継いで、今までリーダーだった人たちを副リーダーに据える期間を経て、11月ぐらいに本格的に引継ぎました。その時に活動のマニュアル等を渡しましたが、私たちが初代の学生広報スタッフのため、初めてマニュアルを作ったんです。

そこから元リーダーと次期リーダーの2人で先生への連絡方法や、確認方法などについて話し合っ、確定マニュアルを渡します。そこからの修正は次期リーダーの子に任せています。

群大 間 素敵な方法ですね。勉強になりました。ありがとうございました！



各種SNSの発信で意識していること

群大 島田 SNSを使い分けることが難しいと感じています。熊大のみなさんは、どんなことを意識していますか？

熊大 阿比留 Twitterでは身近なことを呟いています。前は、何でもいからとりあえず毎日ツイートしようと、熊本の飲食店とかの紹介をしていたんですけど、最近はTwitterとInstagramのストーリーズで熊大生の日常を発信しています。具体的には、「今、テスト期間で頑張っています」とか、「最近、五高記念館の工事が終わりました」みたいな、リアルタイムの情報発信ができるように意識しています。Instagramの投稿は遡って見るできるので、文字が多めの情報を発信しています。各学部の学生にインタビューをして、その学部の雰囲気や将来どういう職業に就く人が多いとか、そういう内容をシリーズ化して載せています。あとは、キャンパス内で撮った写真に良い感じの加工処理をして、Instagramに投稿をしています。

熊大 平川 他にも、大学公式ウェブサイトに掲載されるウェブマガジンにも不定期で記事を書いています。SNSよりも文章量が多いので、私たちが取材したいことや取り上げたいことを企画して、新入生や受験生に役立つ内容を記事にしています。

熊大 阿比留 職員の方が運用する熊大公式Twitterの情報を広報スタッフのアカウントがリツイートすることもあります。

学生が広報活動をする意義

群大 島田 学生が広報活動を行う意味や目的はどんなことだと思いますか？

熊大 阿比留 「学生ならではの視点」だと思っています。学部の紹介や熊大の紹介をInstagramで発信しているとした時に、間違っ情報を発信してはいけないと思い、固くなってしまっ、ウェブサイトの情報をそのまま投稿していた時期がありました。「これでは私たちが投稿する意味くない？」っという話になって、私たち学生が感じたことを発信しなければ、学生広報の意味がないと改めて考えるようになりました。その後はインタビュー形式の投稿や、私たちや他の熊大生の声を形にするような投稿をしていこうとなりました。「学生ならではの視点」で発信することが学生広報の意義だと思います。

熊大 平川 (インタビューの時に) 大人に質問されるのと、同じ歳くらいの学生に質問されるのでは、答える内容は絶対に違っじゃないですか。例えば、私たちが「実はこういうことないですか？」っって聞いて(インタビューに答えてくれる学生が)「ありますよねー！」っって返してくれるような会話ができたりします。そういった言いにくいことでも、素直に答えてくれる雰囲気をつくれるのは、学生ならではのだと思っんです。大学の先生方や職員の方たちが気付けないところについて、「熊大生は実はこれがあるあるなんだよ」とか、「こういう生活しているんだよ」ということを伝えられることは、すごく意義のあることだと思っます。あと、学生広報で色々な取材や撮影に関わる中で、「大人との関わり方っってこういうところに気を付けなくちゃいけないんだな、こういう言葉遣いをするんだな」と、いったようにすごく成長できるので、私たちにとっても意義のある活動ですっね。

群大 島田 ありがとうございます。すごく勉強になります。ウェブサイトの内容をそのまま投稿していたことも、元は「正確な情報を発信しなくては」という責任感から始まっていると思うので、そういった責任感をしっかり持つところも見習っていきたいです。また、学生自身も成長できる活動というのは、後輩たちにとっても広報活動を続けていくメリットとして伝えていけることだなと感じました。

学生と教職員の関係性

群大 島田 SNSの投稿の前に、教職員のチェックを挟んでいるのですか？

熊大 阿比留 TwitterとInstagramのストーリーズは、私たちでお互いにチェックしてから投稿していますが、Instagramの記事とYouTubeの動画の投稿は、先生と職員の方に最終チェックをしてもらってから投稿する形になっています。ウェブマガジンの記事も職員の方たちに見てもらってから出しているの、ほとんど一回は教職員の方の目を通してから発信する流れですね。

群大 島田 以前見せていただいた熊大の学生と職員の方とのやり取りには、結構、絵文字とかも使われていた気がして。すごく仲が良いというか、「職員の人と学生」といった堅い感じではないのかなと思ったのですが。

熊大 平川 対面で会うと職員の方はすごく気さくで、ラフに喋ってくださっています。そういった雰囲気を知っているからだと思います。あんまり堅苦しい人じゃないっていうのが分かっているし、私としても、そんなにもものすごく堅い文章が好きじゃなくて。

群大 島田 職員の方たちと良い関係性ですね。

熊大 平川 すごく信頼してくれています。「やって良いよ」、「こんなのやってみて」っていう感じですよ。

熊大 阿比留 うん。「やってみて」、「何が欲しいの?」、「欲しい機材ある?」みたいな。

熊大 平川 しっかり応えていけば、ちゃんと評価してもらえると感じます。

群大 島田 群大もそうなりたいですね。

群大 間 群大の職員も優しいんだけどね。(学生広報大使の)全員が(教職員と)関わっているわけではないので。

熊大 平川 熊大も、学生広報に関わってくださっている教職員は数人です。

熊大 阿比留 私たちと直接話して打合せをするのは、主に広報戦略室の2人の女性職員の方です。その方々が私たち学生の意見を先生や大学の会議で提案して、大学としての判断の結果を伝えてくれているのだと思います。

一問一答 Q&A

Q 職員の方から企画を受けるときに、自分たちで工夫したりアレンジしたり、意見を出したりすることはありますか？

熊大通信(熊本大学が発行している広報誌)は職員の方から頂いた企画をやっていますが、ウェブマガジンのKumadai Now(熊大なう。)やYouTube、SNSは学生スタッフが企画立案から行っています。

■企画を立案する時は熊本以外の地域 or 熊大生以外の一般の人も見ると意識して取材するようにしているそう!

Q やってみて良かった企画とか、反響が良かった企画は何ですか？

YouTubeの「あつまれどうぶつの森」*1風キャンパスツアー動画。

初期のころはTwitterを毎日更新していました! あとはTwitterのお店紹介企画で取り上げたお店にメンションを飛ばしたところ、反響がありました。熊大用語*2のハッシュタグをつけた投稿や写真の投稿もやってみて良かった企画だと思います。

- YouTubeのキャンパスツアー動画ではオリジナルキャラクター“くまきち”の作成と声当てまでされているとのこと!
- Twitterで熊本のお土産として有名なお菓子「誉の陣太鼓」を販売する「お菓子の香梅」にメンションしたところ公式からいいねとRTがありプチバズリ!

Q 熊大広報スタッフの今後の展望は?

今後は、熊大のグッズを作りたいと考えています。現在、皆でアイデアを集めています。

■今出ているという案がこちら!

- ・エコバッグ
- ・文房具(メモ帳、ファイル、付箋、カレンダー、パスケース、ルーズリーフ、単語帳)
- ・五高記念館^{※3}の修復完了に関するグッズ



五高記念館



このページをご覧いただき、ありがとうございます!今回は熊本大学学生広報スタッフと初めてのコラボ企画として、群馬大学側からたくさん質問を投げかけてみました。今回のご縁をきっかけに、熊大とコラボ企画を今後も行う予定なので楽しみにして頂けると嬉しいです。この座談会を通して、群馬大学広報大使チームでもミーティングや交流会を定期開催することになりました!群馬大学広報大使はより活動をパワーアップさせていきます!

このコーナーの取材を担当した学生広報大使



理工学部化学・生物化学科 4年

聞 叡萌

我々、群大とは異なり少数精鋭の熊大学生広報スタッフ。見習うところも多く、群大との違いも興味深かったです。私たちが感じた熊大学生広報スタッフの魅力が、広報大使の方にも、そうでない方にも伝わりますように。



教育学部教育専攻 4年

島田 咲羽

学生広報大使初コラボ企画で、ドキドキワクワクしました!同じ学生広報活動を行う熊大の皆さんの思いを聞くことができ勉強になりました!



教育学部社会専攻 4年

横山 晴香

熊大さんとの取材を通して、群大広報大使ももっと活動の幅を広げていたらと刺激を受けました!熊大の皆さん、ありがとうございました!

※1 任天堂が発売しているゲームソフト。

※2 熊本大学の学生の間で使われている用語のこと。

※3 熊本大学黒髪キャンパス北地区内にある歴史博物館。国の重要文化財に指定されている赤レンガの建造物。2016年の熊本地震で被害を受け、復旧工事が行われた。

学生広報大使企画 **啓真寮** について 出張版

キャンパス紹介

群馬大学には、前橋地区に養心(ようしん)寮、桐生地区に啓真(けいしん)寮の2つの寮があります。今回取り上げるのは、理工学部が利用する啓真寮。寮長の干場さんと、前寮長の本庄さんに、啓真寮での生活についてインタビューしました。

寮長	理工学部化学生物化学科	3年	干場真由子さん
前寮長	理工学部化学生物化学科	4年	本庄紗季さん



啓真寮とはどのような寮ですか？

干場さん 啓真寮は、主に理工学部生と理工学部の大学院生が住んでいる寮で、「独立型」と「シェア型」の2種類の部屋のタイプがあるのが特徴です。独立型は、部屋ごとにお風呂やキッチンがある、普通のアパートに近い部屋です。シェア型は、個人の部屋はありますが、お風呂やキッチンは各フロアで共用のものを使う形をとっています。

寮生活というと、厳しい門限や規則があったり、寮母さんが食事を出してくれたり、掃除当番があったり、といったイメージがあるかもしれませんが、啓真寮にはそういったものではありません。それぞれが自分の時間軸で生活しています。好きなときに帰ってくる事ができて、料理をするスペースもあり、友達も呼べる、自由な雰囲気の寮だと思います。

啓真寮のいいところはどんなところですか？

干場さん 数年前に改装工事をしたこともあって、施設がきれいですね。防犯の面でも、セキュリティカードと部屋の鍵とで二重ロックになっているので、安心です。部屋には大きな窓があって、周りの景色が見えるんですよ。山と川がダイナミックに見えて、季節の移り変わりを感じられます。

本庄さん 個人の部屋はかなり広くて、養心寮の倍くらいあると思います。桐生キャンパスとの距離も、自転車ですら5分くらいなので、短くて便利です。

干場さん 寮の雰囲気も魅力の一つです。養心寮は年間を通していくつかイベントがありますが、啓真寮にはそういったものが基本的にはありません。自分のペースで生活したい、自分のパーソナルスペースを大切にしたい、という人には、程よい距離感があって最適だと思います。寮の仕事については、管理人さんがほとんどやったださるので、助かっています。掃除についても、平日であれば朝に清掃員さんが共用スペースや階段、廊下などを掃除してくださって、快適に過ごせるようにしていただいています。

寮生活で大変なことはありますか？

干場さん 基本的には、管理人さんや清掃員さんが暮らしやすい環境を作ってくださっているので、特別大変なことはあまりない気がします。強いて言うなら、シェア型の場合だと、複数の人が同じものを使うことになる共用スペースでの過ごし方には気をつけないといけませんね。各々が気を遣って、良い環境で生活できるよう心掛けています。

啓真寮での思い出やエピソードを教えてください

干場さん シェア型ならではのエピソードですが、キッチンでタコパしたり、ケーキを作ったりしたのはいい思い出です。他にも、夜中に大きい地震が起きたときに、自然とみんな部屋から出てきて、安否確認したことがありました。不安なときに近くに誰かがいてくれるのはやはり安心しますね。

本庄さん フロアごとに自由に使えるラウンジスペースがあるのですが、よくそこに集まって同じ学科の友達と課題をしていました。大学院の勉強や就活も、一緒に頑張れる人が身近にいる良い環境だと思います。



最後に、入寮を考えている人にメッセージをお願いします。

干場さん 寮での生活というと、集団生活は大変そう、規則が厳しそうと、マイナスなイメージを持っている方もいるかと思いますが、啓真寮は、学生寮でありながら丁度いい距離感があって、細かい規則もなく、暮らしやすい寮だと思います。一人暮らしは寂しい、心配だ、という人にはぜひおすすめしたいです。

本庄さん 人と集まって生活する経験は、なかなかできるものではないと思います。たくさんの人と出会って、色々な話をして、交流の幅を広げてほしいです。

啓真寮寮生のお部屋紹介

「私だけの落ち着いた空間」



太田 美乃里さん
(ワンルーム型)

「休日はコタツでぬくぬくと、くつろぎ空間」



岡田 矩幸さん
(ワンルーム型)

とある寮生の一日常(授業がある日の平日)



パターンA
7:30 起床 8:00 朝食準備など 8:20 登校 8:40 授業 12:00 学食で昼食 12:40 授業 14:20 図書館で勉強 18:00 スーパーで買い物 18:30 帰宅、夕食づくり 19:30 夕食 20:00 お風呂 21:00 授業の課題 24:00 就寝



パターンB
8:30 起床 9:00 朝食準備など 10:00 登校 10:20 授業 12:00 学食で昼食 12:40 授業 14:30 帰宅、勉強 アルバイト 17:00 帰宅 20:00 夕食 20:30 お風呂 21:00 映画をみる 22:00 映画をみる 24:00 就寝



養心寮についての
記事はこちら!

群馬大学広報誌
「GU'DAY」
2021秋号



このコーナーの取材を
担当した学生広報大使

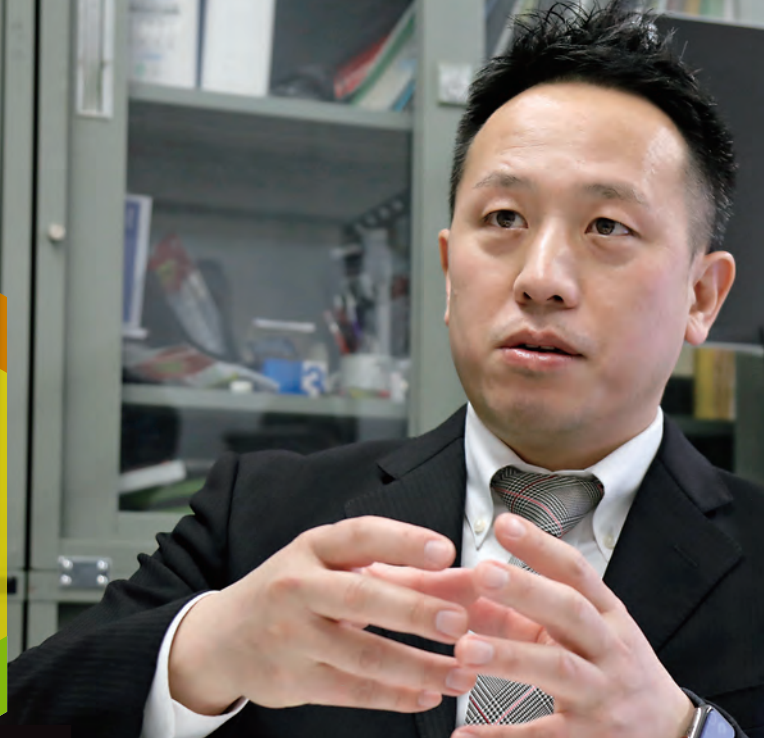
情報学部1年
増田 日菜里

【出身】群馬県 【出身高校】太田女子高等学校

寮で生活する学生の、ありのままの様子が見えるように心掛けて書きました。啓真寮の魅力をたくさんの人にお伝えできたら嬉しいです。

研究紹介

Introduction to one of the
GU Researchers!



群馬大学初のクラウドファンディング

Crowdfunding

●小児用超小型人工心臓

今回のクラウドファンディングは磁気浮上技術を用いた小児用の人工心臓の開発が目的です。群馬大学としても大きな取り組みと捉えていただいて、医学部との連携や広報活動をはじめ、強力な布陣で臨みました。失敗できないという覚悟でスタートしましたが、当初の目標を大幅に上回るスピードで目標額を達成することができました。磁気浮上技術とは、リニアモーターカーなどにも使われている磁気力を使ってモノを浮かせる技術で、浮かせることで擦れる部分が無く、摩擦がとてもなく少なくなります。扇風機のかごの中でプロペラだけが浮いて回っているイメージで、電磁石とモーターの組み合わせで永久磁石を作り、これを上手く利用すれば人工心臓に応用することができるのです。ゴミなども入らず、擦れる部分が無いので、小型で、かつ血液のダメージが非常に少ない人工心臓を作ることができます。

大学の研究は、アイデアを基に実証するための装置を製作し、論文を書くことによって目標を達成したということになるのですが、その後実際のモノを作るというのはとても長い時間や資金、多くの人の協力が必要になります。人工心臓を作るためには長い道のりがあるんです。今回のクラウドファンディングによって、私たちの想いに賛同してくれる方や実際に人工心臓を必要としている方との距離感が近くなりました。磁気浮上技術を必要としている大勢の方とつながりが持たたということが非常に良かったことだと思っています。

●小さい頃からものづくりは好きでした

モーターにもともと興味があって、ミニ四駆などが子どもの頃から好きでした。高校は普通高校でしたが、ものづくりへの興味と、文系よりは理系が好きだったこともあって、何となく工学系に行くのかな？とっていました。その時はそれほど強いモチベーションがあったわけではありませんでした。

大学4年生で入った研究室が磁気浮上技術を利用した産業用機器の開発などをテーマにしている、モーターやバルブを電磁駆動にしたり、電磁力を使って振動を抑制したりする装置の開発をしていました。

純粋に自分のアイデアで自分のやりたいことをカタチにする、そしてそれを持って世界と対等に勝負できる。「これは楽しそうだな」「先生のようなことをやりたい」と思って、研究室に入っすぐ「博士になりたい」と担当教授に言いました。これが研究者への入口です。

磁気浮上技術というのは機械工学や電気工学などのように単一の学問ではなく、複合的な分野です。幅広い知識を必要とする磁気浮上という研究テーマは、自分に合っていたのかもしれませんが。大学時代にその先生に出会っていなければ今の自分はこの研究に取り組んでいないと思います。

クラウドファンディングについて

薬での治療が難しい重度の循環器の患者さんを救うためには心臓移植が有効ですが、ドナーが見つかるまでには長い時間が必要です。特に小児の心臓移植はドナーが少なく、移植を待つ時間も長くなります。小児用人工心臓は事業化が難しく開発が遅れています。そこでドナーを待つ間も安心して過ごせるように超小型磁気浮上モーターを用いた、長期間使用できる耐久性に優れた小児用体内埋込型人工心臓を開発するための、クラウドファンディングを実施し、59日間で760名の方から総額30,980,000円のご寄附をいただきました。

群馬大学 大学院理工学府
電子情報部門 准教授

栗田 伸幸 (くりた のぶゆき)

Profile

山形県出身。
2006年に茨城大学博士号取得。
2006年4月から2009年3月都城工業高等専門学校機械工学科助教。
2013年7月から2014年3月Texas Heart Institute (アメリカ・テキサス州) でSenior Researcherとして磁気浮上型完全置換人工心臓の研究に携わる。
2017年9月から2018年3月Johannes Kepler Universityで客員研究員として磁気浮上モーターを研究。
2016年9月から群馬大学准教授

●研究テーマが「夢」に

大学時代から磁気浮上技術を人工心臓へ応用する先行研究は知っていましたが、当時は一つの研究テーマとして受け止めていただけでした。しかし、研究室にいた交換留学の同級生が磁気浮上技術で人工心臓を作るという確固たる夢を持っていたため、一緒に研究を始めたのです。そんな時、ある学会に行き、心臓外科医の先生と、実際に人工心臓を埋めている人が話をしている場面に立ち会いました。人工心臓によって命を支えられている人が、自分に人工心臓を埋めて命を救った医師と話をしている。「私が作ろうとしているのは命を直接救う装置なんだ」とすごく感動しました。「いつか自分が開発した人工心臓を埋め込んだ人と話したい」と思うようにもなりました。人工心臓は医学にかかわる分野の研究ですが、効率良く血液を送り出すポンプを作ることから始まります。その後は血液をどう扱うかが重要になり、医師とタッグを組んでやっていかないとはいけません。群馬大学では医学部の人工心臓埋め込み手術の経験豊富な先生のアドバイスをいただけます。理工学部内でも機械工学の分野、材料に関する知識などについても他の分野の先生方と相談できます。とても良い環境ですね。

●大学で自分の武器を身につける

私自身は山形出身ですが、群馬が大好きです。この記事を読んでいる群馬県以外の高校生には「本当に群馬はオススメだよ」と言いたいですね。群馬は都心にも近く、適度に都会で適度に田舎で天災が少なく住みやすいため、学問をする上ではちょうど良い最高の環境だと思います。それに、群馬県民は情にあつく、人と人のつながりをとても感じます。今の環境に出会えたのはラッキーでした。

群馬大学の強みの一つは、医学部があることではないでしょうか。また、理工学部には世界的に功績のある先生方がたくさん在籍しており、理工学部と医学部の共同研究も多いです。他大学と比較すると各研究室所属の学生数が少なく、指導体制が万全なので、学生の質は非常に高いと思います。群馬県内には群馬大学の学生に就職してほしいという企業が非常に多くありますので、高校生の皆さんには群馬県内の企業についても是非興味を持ってほしいです。

自分が伸びていくためには好きであることが重要です。自分の「これおもしろそうだな」というものを見つけてほしい。将来必要になる自分のツールを身に付けるというモチベーションで勉強すれば、その背景にある意味を理解することができます。そうすると成績も良くなるし、ツールが身に付く。そして、そのツールが武器になります。受験は自分の将来をステップアップさせるために利用できる良い機会です。群馬大学はとても良い場所だと思います。是非、群馬大学に来てください。

夢ナビライブで栗田准教授の「ミニ講義」を体験しよう！



栗田研究室
@群馬大学電子情報部門HP



- 2021 9/ 1 理工学府分子科学部門の海野雅史教授グループを含む豪・仏の共同研究チームがフッ素イオンを内包したかご型シルセスキオキサン論文を発表
- 9/ 1 共同教育学部特別支援教育専攻栗田鈴華さんへのヤマト福祉財団奨学金贈呈式を実施
- 9/ 2 第43回コンクリート工学会年次大会(名古屋)論文奨励賞を大学院理工学府環境創生理工学教育プログラムの富士田玲さんが受賞
- 9/ 3 World University Rankings 2022に本学がランクイン
- 9/ 7 ぐんまプログラミングアワード2021 (GPA)のファイナルステージ審査員として数理データ科学教育研究センター長浅尾高行教授が出席
- 9/ 7 外国につながる児童のためのオンライン日本語学習教材動画を作成
- 9/ 7 プリティッシュ・カウンシルの「気候変動に貢献するための国際共同研究」プロジェクト(日英ASEAN連携プロジェクト)に採択
- 9/ 8 自動運転車両を活用した移動支援の実証実験を実施
- 9/ 9 日本放射線化学会「第64回放射線化学討論会」にて大学院理工学府物質・生命理工学教育プログラムの上野美穂さんが優秀賞を受賞
- 9/13 NHK「ほっとくんま630」に男子ラクロス部の相田誠之さんが登場
- 9/14 群馬大学重粒子線医学研究センターとインドタタメモリアルセンターが学術交流に関する協定を締結
- 9/15 共同教育学部の田中麻里教授がNHK「ほっとくんま630」に出演
- 9/17 統計エキスパート人材育成コンソーシアムに参加
- 9/21 桐生市長と群馬大学生等が桐生市主催の「まちづくりミーティング」にて意見交換を実施
- 9/21 理工学部環境創生理学部門の斎藤隆泰准教授と、情報学部の加藤毅教授が令和2年度非破壊検査協会学術奨励賞を受賞
- 9/27 定例記者会見(2021年度第1回)を開催
- 9/27 地域・業界対応型インターンシップ「群馬県・GHKG交流会」を実施
- 9/28 大学院理工学府電子情報・数理教育プログラムの邊見貴彦さんがFITヤングリサーチアワードを受賞
- 9/29 大学院理工学府知能機械創製理工学領域のTong Chenさんが国際会議AMMM2021 EXCELLENT PRESENTATION AWARDを受賞
- 9/30 2021年度後期から二つの新科目(教養科目)を開講
- 10/ 1 本学経営協議会外部委員から「国立大学法人の機能強化へ向けた国による支援の充実を求める声明」を発表
- 10/ 6 医学系研究科の古賀康彦助教らの研究グループが、量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所上席研究員と群馬大学大学院保健学研究科名誉教授らとの共同研究により、難病疾患に指定されている特異性肺線維症(特異性間質性肺炎)の進行や予後に関わるメカニズムの一部を明らかに
- 10/ 8 理工学図書館にて、第21回桐生楽講座「まちづくりプロデューサーから見る桐生」を開催
- 10/ 8 生体調節研究所Li Jinghe 研究員、白川純教授らの研究グループが横浜市立大学、アルバータ大学、シンガポール国立大学、徳島大学等との共同研究によりヒトβ細胞の新たな保護メカニズムを解明
- 10/ 8 生体調節研究所分子糖代謝制御分野の深石貴大医師、中川祐子助教、藤谷と士夫教授らの研究グループが、順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学等との共同研究によりインスリンを産生するβ細胞が「遺伝子発現プロファイルの異なる7つの亜集団から構成されることを明らかに
- 10/11 白尾智明特別教授らが、国立病院機構大阪医療センター・臨床研究センター・先進医療研究開発部、大阪大学大学院医学系研究科神経内科学、東京大学大学院薬学系研究科らの研究グループとの共同研究により、脳型ドレブリンを指標としたヒトIPS細胞由来神経細胞のシナプス成熟評価法の開発とシナプス形成過程を解明
- 10/11 大学院説明会及び社会情報学プチセミナーを開催
- 10/11 大学院理工学府博士前期課程1年福田伊織さんが優秀発表賞を受賞
- 10/12 共同教育学部社会専攻の関戸明子教授が群馬テレビ「ぐんま!トリビア図鑑」に出演
- 10/16 学生広報大使トークライブ「受験生応援編」を実施
- 10/19 理工学府電子情報・数理教育プログラムの小松圭太さん、中村和弘さんが第37回センシングフォーラム研究奨励賞を受賞
- 10/20 定例記者会見を開催
- 10/21 協力効果が高い組み合わせを瞬時に列挙する共同輸送マッチング技術を開発
- 10/25 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの片野麻衣さんが、第19回ケイ素化学国際シンポジウムでポスター賞を受賞
- 10/26 理工学府環境創生理工学教育プログラムの稲葉 佳生さんが、日本セラミックス協会第34回秋季シンポジウムにてFCDIC優秀プレゼンテーション賞を受賞
- 10/27 理工学府電子情報・数理教育プログラムのDate Faustinさんと藤生 和希さんが日本ソフトウェア科学会第38回大会にて優秀発表賞を受賞
- 10/28 令和3年度群馬大学公開講座「重粒子線がん治療について」を開催
- 10/29 群馬大学ダイバーシティ推進センターシンポジウム「ダイバーシティ環境で育む知のシナジーと研究力」を開催
- 10/29 理工学府知能機械創製理工学教育プログラムの博士前期課程1年の大堤海翔さんと知能機械創製部門の井上雅博准教授が、マイクロエレクトロニクスショー2021にてアカデミックプラザ賞を受賞
- 10/29 理工学府電子情報・数理教育プログラムの清水崇至さんが、第21回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウムにて優秀論文賞を受賞
- 11/ 1 理工学府知能機械創製部門の藤井雄作教授と電子情報部門の鈴木宏輔助教の研究が国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))に採択
- 11/ 4 理工学府環境創生理工学教育プログラムの竹田晴彦さんが、「The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology」においてStudent Poster Presentation Awardを受賞
- 11/10 大学院理工学府電子情報・数理教育プログラムの関根有希さんが、国際会議 IEEE14th ASICON 2021にてExcellent Student Paper Awardを受賞
- 11/10 医学系研究科の筑田博隆教授が東京大学を中心とする研究グループとの共同研究において、くびの脊髄損傷の24時間以内の緊急手術で麻痺の回復促進を確認
- 11/14 群馬大学と群馬県教育委員会によるシンポジウム「ぐんまの教師力を高める2021」をオンライン開催
- 11/15 国際理解講座 Global Cafe「現代アーティストの世界」を開催
- 11/16 齋藤病院長が救急功労者として総務大臣表彰受賞
- 11/16 理工学部環境創生理学部門の大澤宗一郎さん、北村七葉さん、Nguyen Van Thangさんが日本地すべり学会の第60回研究発表会にて若手優秀発表賞(口頭発表部門)を受賞
- 11/18 群馬経済同友会との意見交換会を開催
- 11/18 大学院理工学府物質・生命理工学教育プログラムの箕浦千穂さんが、日本分析化学会第70年会上にて若手ポスター発表賞を受賞
- 11/18 FM桐生「Groovy Station」に栗田伸幸准教授が出演
- 11/19 「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトの教育カリキュラムが文部科学省「留学生就職促進教育プログラム」に認定
- 11/19 理工学府の栗田伸幸准教授が群馬テレビ「ビジネスジャーナル」に出演
- 11/22 大学院理工学府電子情報・数理教育プログラムの萩原岳さん、細野貴司さん、ネンワン レンカン(NENGVANG LENGKHAM)さんが、国際会議「Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems 2021」においてBest Student Presentation Awardを受賞
- 11/24 社会情報学部4年の狩野大樹さんが「ハンセン病問題に関する「親と子のシンポジウム」」に登壇
- 11/24 大学院理工学府分子科学部門の攪上将規助教が2021年度日本熱測定学会奨励賞を受賞
- 11/24 第11回群馬大学未来先端研究機構国際シンポジウムを開催
- 11/25 特別展示「群馬県の高墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展 Part6～群馬県内の高墳発掘・調査の歴史を識る～」を開催
- 11/25 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの岡崎美帆さんが化学とマイクロ・ナノシステム学会第44回研究会にて優秀発表賞を受賞
- 11/25 理工学部物質・環境材料科学プログラムの庄司研究室と渡邊客員教授の共著論文がスマートプロセス学会論文賞を受賞
- 11/25 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの小泉朋矢さんが第18回放射線プロセスシンポジウムにて奨励賞を受賞
- 11/26 オンライン講演会「小児重症心不全患者を救いたい!超小型人工心臓の開発」を開催
- 11/26 iGEM群馬大学チームが合成生物学の国際大会(iGEM2021)にて銀メダルを獲得
- 11/30 株式会社SUBARUが「大学キャンパス出張授業2021」を実施
- 11/30 群馬大学国際センターとオーストラリア・ウーロンゴン大学が共同でオンライン短期研修を実施
- 11/30 群馬大学とFUNiX(FPTコーポレーショングループ)が協定を締結
- 12/ 1 群馬県知事から感謝状授与

- 12/ 2 第11回群馬大学未来先端研究機構国際シンポジウムを開催
- 12/ 2 iGEM群馬大学チームが合成生物学の国際大会「iGEM2021」で銀メダル受賞
- 12/ 2 JST創発的研究支援事業の2021年度新規研究課題に理工学府電子情報部門張慧助教の研究が採択
- 12/ 3 板橋英之副学長、大学院理工学府栗田伸幸准教授が群馬県桐生市長を表敬訪問
- 12/ 3 学生団体Yieldが桐生市の魅力発信事業を担う
- 12/ 3 群馬大学広報誌「GU'DAY」2021年秋号発行
- 12/ 3 理工学府環境創生理工学教育プログラムの鈴木悠介さんが令和3年度土木学会全国大会第76回年次学術講演会にて優秀講演賞を受賞
- 12/ 6 第18回放射線プロセスシンポジウムにて理工学府電子情報・数理教育プログラムの秋山駿さんらの研究が優秀賞を受賞
- 12/ 6 第18回放射線プロセスシンポジウムにて理工学府電子情報・数理教育プログラムの津田路子さんが、奨励賞を受賞
- 12/ 6 理工学府環境創生部門のLi Yuanyingさん、須藤皓介さんが第18回関東支部発表会 (GeoKanto2021) にて優秀発表者賞を受賞
- 12/ 7 群馬大学石崎泰樹学長、板橋英之副学長、大学院理工学府栗田伸幸准教授が山本一太郎群馬県知事を表敬訪問
- 12/ 8 第34回多値論理とその応用研究会にて大学院理工学府電子情報・数理教育プログラムの五木田直樹さんがMVL論文賞を受賞
- 12/ 8 第70回高分子討論会(高分子学会)にて理工学府環境創生理工学教育プログラムの白石健さんが優秀ポスター賞を受賞
- 12/ 9 理工学府電子情報部門の曹洪源さんが情処CS領域奨励賞とベストプレゼン賞を受賞
- 12/ 9 理工学府電子情報・数理教育プログラムの邊見良彦さんが情処全国学生奨励賞を受賞
- 12/ 9 日本化学会第11回CSJ化学フェスタ2021にて大学院理工学府物質・生命理工学教育プログラムの岡崎美帆さんと立見勇樹さんが優秀ポスター発表賞を受賞
- 12/10 山本一太郎群馬県知事と小児用超小型人工心臓の研究・開発に関する合同記者会見を実施
- 12/10 大学院理工学府知能機械創製理工学教育プログラムの大野久美智さんが一般社団法人日本塑性加工学会関東3支部新進部会合同若手学生研究交流会にてポスター発表優秀賞を受賞
- 12/13 理工学府理工学基盤部門の後藤民浩教授が共著者として関わった論文がScience誌に掲載
- 12/14 U.S.-JAPAN COUNCIL×GHKG GHKGコンソーシアム主催特別講演会、学生・企業・自治体関係者との交流会を開催
- 12/16 医学部附属病院北病棟からの上水系統の給水再開
- 12/16 就職ガイダンス「群馬大学公務員等業務概要説明会」を開催
- 12/17 第22回桐生楽講座「移住者+デザイナーからみた桐生の楽しみ方。」を開催
- 12/17 理工学府環境創生部門の佐藤・神成研究室と渡邊・窪田研究室の共著論文が日本エネルギー学会論文賞を受賞
- 12/17 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの杉本俊太郎さんが第48回炭素材料学会年会学生優秀発表賞を受賞
- 12/20 第9回大学経営戦略セミナーを開催
- 12/21 就職ガイダンス「就職活動体験発表会」及び「県内企業と大学生の交流会～ぐんま若者シゴトク～」を開催
- 12/21 理工学府物質・生命理工学プログラムの新井唯史さんがQST高崎サイエンスフェスタ2021で優秀賞を受賞
- 12/21 理工学府の教員による「機械の学校オンライン」が関東工学教育協会賞(業績賞)を受賞
- 12/21 「群馬大学大学院理工学府エレクトロメカニクス教育研究センター」のキックオフミーティングを開催
- 12/22 理工学府環境創生部門の佐藤杏一さんが第56回地盤工学研究発表会にて優秀論文発表者賞を受賞
- 12/22 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの高澤彩香さんが第32回エラストマー討論会において若手優秀発表賞を受賞
- 12/22 理工学府物質・生命理工学教育プログラムの高橋愛永さんが第25回ケイ素化学協会シンポジウムでポスター賞を受賞
- 12/27 大学院理工学府物質・生命理工学教育プログラムの桐生みかさん、藤原文恵さん、中山椋弥さんの3名が第50回結晶成長国内会議で講演奨励賞と学生ポスター賞を受賞
- 2022** 1/ 5 化学・生物化学科及び物質・生命理工学教育プログラムに所属する学生が日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会にてポスター賞を受賞
- 1/ 7 郷土かるたコレクションデジタルアーカイブに全国のかかるた画像を追加公開
- 1/11 松元宏行名誉教授、知能機械創製部門の天谷賢児教授、電子情報部門の弓仲康史教授が第16回関東工学教育協会賞(論文・論説賞)を受賞
- 1/13 iGEM群馬大学チームが銀メダル受賞報告
- 1/13 篠塚和夫名誉教授(現在・特別教授)が日本核酸化学会賞(池原賞)を受賞
- 1/21 群馬県主催のオンライン協働ミーティング「自転車をもっと楽しく、安全に!」に共同教育学部の西園大実教授が登壇
- 1/24 「群馬大学リバーストーム(1)」(理工学部・太田研究室)がつくばチャレンジに出場
- 1/24 はやぶさ2プロジェクトが情報学部太田直哉教授に感謝状授与
- 1/24 日本心理学会公開シンポジウム「多様性と包摂性について考える」を開催
- 1/24 GFL生限定群馬県知事特別講演会を開催
- 1/25 理工学府環境創生理工学教育プログラムの竹田晴彦さんが「計算数理工学シンポジウム2021 (JASCOME symposium 2021)」にて日本計算数理工学会講演賞を受賞
- 1/25 理工学府電子情報・数理教育プログラムの木村晃介さん、金井元紀さん、丸山拓希さんが「量子生命科学先端フォーラム2021冬の研究会」にて優秀発表賞を受賞
- 1/27 共同教育学部英語教育専攻の山田敏幸講師が群馬テレビ「ビジネスジャーナル」に出演
- 1/27 群馬大学アナログ集積回路研究会講演会を開催
- 1/28 「Guts for the future!～私たちがここから未来を創るんだ～」ムービーを公開
- 2/ 1 「めぶく。プラットフォーム前橋」の共同公開講座の配信開始
- 2/ 2 東京大学大学院医学系研究科、米国マサチューセッツ総合病院等との共同研究により、未来先端研究機構 柴田淳史准教授らが、特定のタンパク質がDNA修復中に形成された不安定なR-loop構造の崩壊を防ぎ、DNA切断を正確に修復する新たな仕組みを発見
- 2/ 8 ヘアドネーション活動を行っている医学部医学科の伊谷野真莉愛さんがFM GUNMAI(POTLUCK)に出演
- 2/ 8 群馬大学大学院医学系研究科脳神経再生医学分野の渡邊将任助教(現在は岐阜大学)及び平井宏和教授らのグループが、成熟脳において、リン酸化酵素であるγ型プロテインキナーゼC(PKCγ)が協調運動(複数の筋肉の動きを調整して行う滑らかな運動)の制御に重要な役割を果たしていることを明らかに
- 2/14 理工学府知能機械創製理工学教育プログラムの今井昇吾さんが一般社団法人日本塑性加工学会学生奨励賞を受賞
- 2/14 「教育と産業」の接続強化に向けた大学院教育改革をテーマに群馬県副知事の宇留賀敬一氏、群馬県戦略企画課及び本学関係教職員による懇談会を開催
- 2/15 理工学府分子科学部門神谷厚輝助教がDNAなどの生体分子を検出するセンサとなるナノポア(薄膜上の小さな穴)を人工細胞膜に多量に挿入できることを明らかに
- 2/16 東京慈恵会医科大学大学生化学講座の與五沢里美講師、吉田清嗣教授、理化学研究所生命機能科学研究センター呼吸器形成研究チーム森本充チームリーダー、群馬大学 生体調節研究所ゲノム科学リソース分野堀居拓郎准教授、畑田出穂教授らの共同研究グループが、Dyrk2遺伝子を欠損させたマウスを新たに作製して解析し、国の指定難病であるVATER症候群と類似した病態を示すことを発見
- 2/21 2022年2月21日から27日に一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構、日本モビリティ株式会社、日本電気株式会社とともに、ローカル5Gを活用した複数台の遠隔監視を含む自動運転バスの公道実証実験を実施
- 2/22 群馬大学映画部「MEMENTO」の熊谷宏彰さんが総監督を務めた、映画「突然失礼致します!」が渋谷ユーロライブにて劇場公開
- 3/ 3 オンライン講演会「読み書きメディアの認知科学～未来の読書と図書館を考える～」を開催
- 3/ 7 GHKGが群馬県中小企業団体中央会と連携し、合同企業説明会に向けたインターンシップを企画
- 3/ 7 理工学府電子情報・数理教育プログラム2年の田島賢哉さんがDEIM学生プレゼンテーション賞を受賞
- 3/ 7 理工学府環境創生理工学教育プログラム2年の横澤遼さんが第23回静電気学会春期講演会でExcellent Presentation賞を受賞
- 3/ 9 第12回群馬大学未来先端研究機構国際シンポジウムを開催
- 3/ 9 理工学府知能機械創製部門の石間経章教授、荒木幹也教授、座間淑夫准教授が日本液体微粒化学会功労賞を受賞
- 3/12 共同教育学部数学教育講座の伊藤隆教授がNHK「チコちゃんに叱られる!」に出演
- 3/14 前橋商工会議所 情報メディア部会・サービス部会主催セミナー「情報メディアの未来を考える」を開催
- 3/15 GFL主催特別講演会「荒木重雄氏に学ぶキャリア形成～IT・スポーツ業界トップランナーの視点から～」を開催
- 3/18 GHKG成果報告会・パネルディスカッションを開催
- 3/18 学習スキルを示すデジタル修了証「オープンバッジ」を導入
- 3/18 理工学部の化学・生物化学科および理工学府の物質・生命理工学教育プログラムの学生4名が高分子学会関東支部 第4回北関東地区講演会において優秀ポスター賞を受賞
- 3/20 2021年度群馬大学地域貢献事業「ぐんま子ども・子育てコロキウム」開催
- 3/22 ミュージカル劇団で活躍している医学部保健学科の川島花果さんがFM GUNMAI(POTLUCK)に出演

群馬大学学生広報大使大募集！

▶ 学生広報大使とは！

2017年4月、群馬大学の在生による学生広報チーム学生広報大使(Student Ambassador)が結成されました。在生目線で群馬大学の魅力を広く伝えるための活動をしています。



群馬大学
学生広報大使の
プロモーション
ビデオはこちら！



活動内容

学生広報大使では、あなたの興味のある活動に参加できます。

- チーム制: 4つのチームに分かれ、チームごとに協力しながら広報活動をしています。
- チームに所属しないで、ゆるく活動に参加したい! という方も大歓迎です。
- 定例報告会: 活動状況については、月1で定例報告会を行い、情報共有をしています。別のチームとの情報共有や交流のために、定期的に交流会を行っています。
- 交流会では、他学部の学生や教職員と交流できます♪ 縦と横のつながりができますよ!

具体的な活動内容は？

- オープンキャンパスの企画・運営
- 高校生に対する進学イベントへの参加
- SNSでの情報発信
- 大学広報誌の企画・編集・取材
- 広報動画の企画・撮影・編集
- 在学生の声を届ける配信の運営など

学生広報大使

Student Ambassador

オープンキャンパスチーム

全学オープンキャンパス「GU'DAY」の企画を担うチーム

広報誌チーム

群馬大学広報誌「GU'DAY」の編集を担うチーム

SNSチーム

学生広報大使Twitter、Instagram、TikTokの運用を担うチーム

放送・動画チーム

Zoom、Instagram、YouTubeなどで群大の魅力を発信していく「放送」と、群大の魅力を伝える「動画制作」を担うチーム

学生広報大使は、4つのチームで構成されており、他のチームと連携して広報活動を行っています。複数のチームに所属することもできます。

▶ **学生広報大使の出演動画** 学生広報大使が出演している動画の一部を紹介します！

群大生の1日紹介

群大生のリアルな1日の生活の様子を「通学編」、「授業編」、「キャンパスライフ編」、「放課後編」の4つのカテゴリーでご紹介します！
(2021年6月取材時の内容です)



**群馬大学情報学部
カーシェアリング
体験MOVIE(日常編)**

「オープンキャンパスGU'DAY2021」で紹介されました！



学長×在学生トーク

「先生、早速質問があるんですけど。フラれたことありますか？」という衝撃的な質問から始まるインタビュー。



360° VR動画

群馬大学のキャンパスを学生広報大使が紹介します。



▶ **学生広報大使ラジオ**

群馬大学学生広報大使がお送りする群大ラジオGuuuum(グーム)では、在校生の生の声をお届けしています！不定期ですが、月一を目安にZoomを利用して行っています！



群大放送
[Guuuum]

▶ **群馬大学公式サイト**

群馬大学広報大使に興味のある方は、是非群馬大学公式サイトをチェック！



▶ **群馬大学広報大使SNS**



Twitter: @Gundai_sa



Instagram: @gundai_sa



TikTok: @gundai_sa

群馬大学基金へのご寄附のお願い

群馬大学では学生に対する支援、教育研究の質の向上及び社会貢献活動の充実等を図ることを目的とし、「群馬大学基金」による寄附金を募っています。

本基金の趣旨にご賛同いただき、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 群馬大学基金事業概要

群馬大学基金では、皆様からご支援いただいた寄附金を活用し、次の4つの事業を実施しています。なお、ご寄附の際は、寄附事業をお選びいただけます。



学生の修学支援に資する事業

- ▶ 奨学金の給付
- ▶ 海外留学の費用補助 など



大学運営全般に係る事業

- ▶ 教育研究の支援
- ▶ 国際交流の推進
- ▶ 附属学校の施設整備 など



重粒子線治療の普及・発展に資する事業

- ▶ 重粒子線治療推進事業
- ▶ 治療技術の開発
- ▶ 専門家の育成
- ▶ 地域連携、普及活動 など



学生等への研究等支援に資する事業

- ▶ 学生又はポストク等の若手研究者への支援
- ▶ 研究活動支援
- ▶ 研究に係る広報支援

● 寄附申込方法

寄附に際しては、①「群馬大学基金」ホームページからのお申込み、②寄附申込書によるお申込みの2つの方法がございます。詳細は、群馬大学基金ホームページをご覧ください。なお、寄附金額については、個人の方は1口 千円から、法人・団体の方は1口 1万円からお願いしております。

● 税法上の優遇措置

個人の場合

税務署に確定申告していただくことにより、所得税の寄附金控除(所得控除)が受けられます。なお、「学生に対する修学支援に資する事業」及び「学生等への研究等支援に資する事業」への寄附に対しては、寄附額の一定割合の額が、所得税から直接控除できる制度(税額控除)の対象になりますので、どちらか一方の制度を選択できます。(住所地によっては、併せて住民税の寄附金税金控除も受けられます。)

法人の場合

寄附金の全額が損金算入できます。

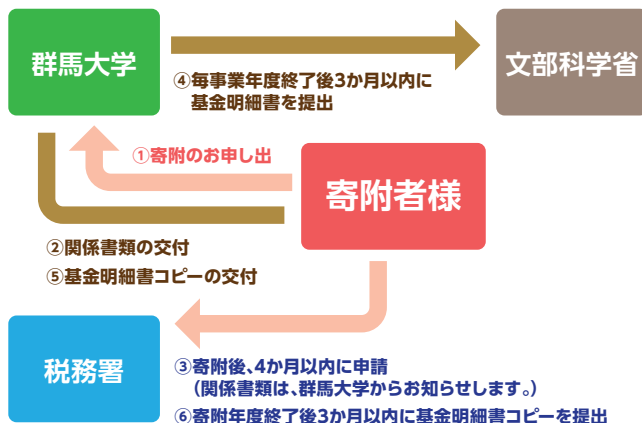
● 現物資産(不動産、有価証券等)によるご寄附

群馬大学では、現金以外にも「不動産」「有価証券」など、現物資産によるご寄附もお受けしております。なお、本学の基金へ現物資産をご寄附いただいた場合には、これまでより容易に「みなし譲渡所得税」の非課税承認(承認特例)を受けられるようになりました。現物資産によるご寄附をご検討されている方は、基金事務室までお気軽にご相談ください。

群馬大学基金
ホームページは
コチラ



【みなし譲渡所得税の非課税承認(承認特例)の流れ図】



お問合せ先

群馬大学総務部総務課広報係(基金事務室)

Tel:027-220-7018 / Fax:027-220-7012 / Email:kikin@jimu.gunma-u.ac.jp

Photogallery

フォトギャラリー



撮影

学生広報大使兼桐生写真部

大澤 郁弥さん

桐生写真部
アカウント

Twitter:@gust_photo

Instagram:@gupt_kiryu.gallery

Back number

バックナンバー

<https://www.gunma-u.ac.jp/outline/out009/guday>



読者の皆様へ アンケートご協力をお願い

群馬大学広報誌「GU'DAY」をご覧いただきありがとうございました。
よりよい広報誌作成のため、簡単なアンケートにご協力ください。アンケートは3分ほどで終わります。

群馬大学オリジナルグッズプレゼント!

アンケートにご協力いただき、プレゼントに応募された方の中から抽選で
合計10名様に「群馬大学オリジナルグッズ」をプレゼント!是非ご応募ください!

プレゼント応募締切:2022年7月31日

回答方法:QRコードを読み取って回答してください。

応募方法:アンケートの最後に必要事項を記入してください。



群馬大学オリジナル付箋
(色は選べません)



学生広報大使作成
オリジナルクリアファイル



群馬大学
オリジナルクリアファイル(星野富弘版)



熊本大学限定グッズ(5名様)



群馬大学オリジナル
トートバッグ



群馬大学広報誌

GU'DAY [グッデイ]

発行元:国立大学法人群馬大学広報本部

発行日:2022年5月

TEL:027-220-7010(7011)

Email:s-public@jimu.gunma-u.ac.jp

URL: <https://www.gunma-u.ac.jp/>